

財団法人 大日本女子社会教育会 概要



女子会館

設立 昭和十六年三月三日（文部大臣認可）
所在地 東京都港区芝公園第十二号地ノ一
（假事務所）港区芝公園第三号地一番

目的 女子社会教育並に家庭教育の振興を図る
事業 1 女子社会教育並に家庭教育の振興に関する諸施設
2 日本女子会館の維持経営
3 女子社会教育並に家庭教育に関する研究
4 調査指導資料の編纂頒布
5 その他必要と認められる事業

基本財産 建物（日本女子会館）及び基金
最高顧問 吉岡 弥生
常任顧問 関屋 龍吉
理事長 井上 秀
理事 長 下村 寿一
理事 堀山 薫
理事 大橋 広子
理事 吉岡 博人
理事 三輪 繁子
理事 大妻 コタカ
理事 菅 支那子
理事 今和 次郎
理事 宮城 タマヨ
理事 西川 静枝
理事 小田 登太郎
理事 大野 法道

機関誌・研究誌の発行

月刊誌 女性教養

A 5.版 四八頁
誌代 一部三〇円

女性の教養を高めることを目的として、編集して居る本会機関誌です。各界名士の論説、講演、随筆、海外ニュースの解説紹介、生活改善、婦人会の活動、栄養ニュース、料理、文学記事等を満載して各方面で好評を得て居ります。

研究誌 家庭科学

A 5.版 八〇頁
誌代 一部一〇〇円（年四回発行）

斯界の権威者、學者、新進研究家等の手になる純然たる、専門記事を収録し、家庭に関する研究誌として、各学校教師、生活改善指導員、家政学研究者等必読の書。

◎ 会員募集

誰方でも「女性教養」又は「家庭科学」を購読される方を会員として、講習会、講演会、見学会等の案内又は会費割引等の特典があります。会費を添え左記へお申込み下さい。

一ヶ年 三六〇円
半ヶ年 一八〇円
女性教養
家庭科学 四〇〇円 二〇〇円

東京都港区芝公園第三号地一番
財団法人 大日本女子社会教育会
（家庭科学研究所）

電話芝（43）四二二七番
振替口座 財団法人大日本女子社会教育会 東京七三二〇番
家庭科学研究所 東京六四〇〇番
振替口座 家庭科学研究所 東京六四〇〇番

入会申込書

女性教養 自昭和 年 月 日
至昭和 年 月 日
家庭科学 自昭和 年 月 日
至昭和 年 月 日
右会費金 円也相添え申込みます

住所 氏名

財団法人 大日本女子社会教育会
（家庭科学研究所） 御中

WOMEN'S CULTURE
女性教養

十一月號



財団法人 大日本女子社会教育会発行

女性教養 臨時増刊
HOME SCIENCE
家庭科学

1953—I

目次	
生活改善運動のなされ方についての分析	早稲田大学教授 今和次郎
日本経済の根本問題	一橋大学博士 中山伊知郎
GERONTOLOGY（老年学）に就て	大阪大学教授 橋本寛勝
異常児に対する認識に就て	お茶の水女子大学助教授 平井信義
食品の調理と栄養價	埼玉大学教授 和田富起
被服の保溫性に就て	工学院大学教授 宮坂和雄
ユニットキッチンについて	共立女子大学講師 久保喜男
家政学の本質に就ての理解の進歩	東京家政大学講師 常見育男
共学制の学生に及ぼす影響に就て	大分大学教育学部 溝口ミツ
あとがき	今和次郎

財団パンフレット・入会案内書

1953（昭和28）年頃

月刊誌『女性教養』（右下：1952年11月創刊号）と、家政学研究誌『家庭科学』（左下：1953年1号）の購読を呼びかけている。